

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月23日

計画の名称	美しい自然とゆたかな吉備文化にはぐくまれた快適な総社（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	総社市												
計画の目標	浸水対策を計画的に行い、快適な生活を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	120	A	120	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を5%（H30）から6%（H32）へ増加させる			
	下水道による都市浸水対策達成率	5%	5%	6%
	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業(真壁排水区)	調査・設計等	総社市						10		-
	A07-002	下水道	一般	総社市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業(真壁排水区)	雨水渠W=2.5~3.0m L=0.1Km	総社市						110		-
											小計						120		
											合計						120		

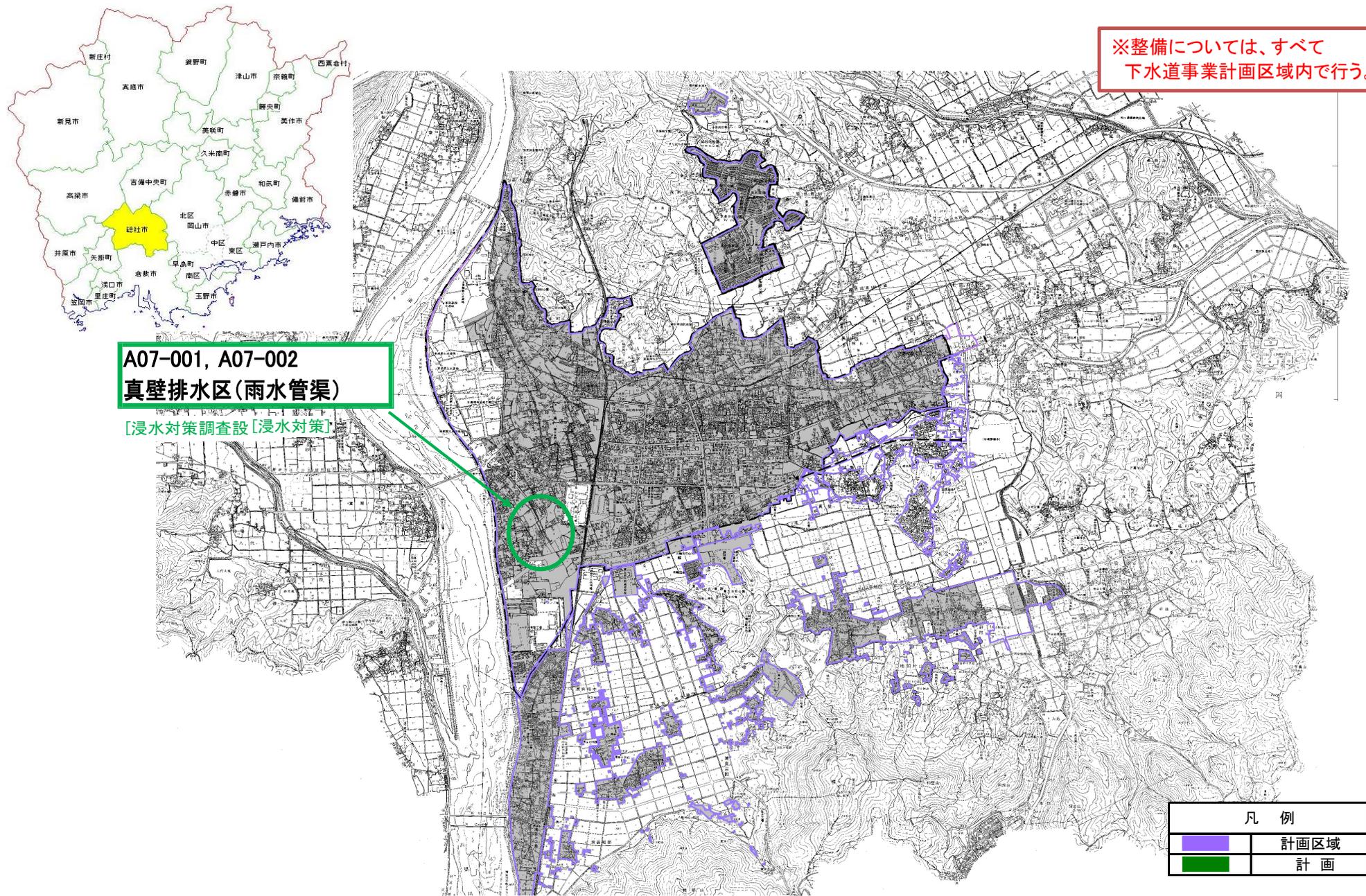
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	26	7			
計画別流用増 減額 (b)	0	3			
交付額 (c=a+b)	26	4			
前年度からの繰越額 (d)	0	17			
支払済額 (e)	9	21			
翌年度繰越額 (f)	17	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	美しい自然とゆたかな吉備文化にはぐくまれた快適な総社 (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)	交付対象	総社市



**A07-001, A07-002
真壁排水区(雨水管渠)**

[浸水対策調査[浸水対策]]

※整備については、すべて
下水道事業計画区域内で行う。

凡 例	
	計画区域
	計画

事前評価チェックシート

計画の名称： 美しい自然とゆたかな吉備文化にはぐくまれた快適な総社（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県構想（クリーライフ100構想）に適合している	○
I. 目標の妥当性 2) これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検（4つの点検）」の実施結果を反映している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 計画の効果・効率性	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確保されている。	○

